

## 第4章

---

# 広報・交流活動



## 第1節 広報と報道

### 1. 刊行物

先端研では、組織やその活動概要及び各研究を広く一般に説明するために、数種類の冊子を発行している。現在は、広報誌「先端研ニュース」を季刊で、先端研パンフレットを年1回刊行している。このほかに、この10年に2冊の先端研に関する書籍が刊行されている。

#### ・先端研ニュース

先端研ニュース（RCAST NEWS）は、1987年7月に創刊されて以降、現在まで発行が続いている。近年では学内・一般向けに先端研の研究、研究者及び特長を分かりやすく伝えることを意識した構成となっている。2011年発行の通巻75号より広報担当者が主に先端研の研究室を取材し、最先端の研究について報告する「先端研探検団Ⅱ」及び、教員によるリレーエッセイ「先端とは何か」が開始された。

2014年発行通巻86号からは、神崎亮平教授（広報委員長（当時））が専門の異なる研究者を訪ねて、研究と学問について大いに議論する対談「喧研譚学」と、若手研究者を取り上げる「輝け！未来の先端人」がスタート。「喧研譚学」は神崎教授の広報委員長の任期終了とともに全13回で終了し、その内容は2016年12月に『ブレイクスルーへの思考』として東京大学出版会にて書籍化された。また、先端研の長所である「研究と運営の分離」の一端を担う事務業務を紹介し、先端研の連携体制を伝えることを主目的とした「知られざる先端研」が通巻89号より掲載されている。

さらに2017年には、先端研30周年を記念して、通巻100号を中心に特別企画を行った。通巻99号では、先端研のシンボルである13号館を紹介したうえで、13号館をモチーフに30周年を機に刷新された先端研の新たなロゴを発表した。通巻100号「先端研設立30周年記念特別編集号」では、先端研の歴史のほか、歴代センター長・所長や、その他の関係者からの寄稿を掲載し、通巻101号では30周年記念式典の様子を掲載した。

#### ・先端研パンフレット

先端研を紹介するパンフレットである。設立前の1986年度から現在までほぼ毎年1回のペースで発行されている。先端研の沿革や組織、人員、財務状況を説明する「先端研の概要」及び教員の研究内容を紹介する「研究者紹介」で構成されてきた。日英分冊で制作した年度と、日英併記で制作した年度がある。2016年度版では、「研究者紹介」が、分野ごとの紹介となる「研究室紹介」に変更された。2017年は30周年を記念し、概要パンフレット「30 Stories, RCAST 東大先端研 30th」を発行した。「研究室紹介」は、「Research Book」として分冊し発行した。2017年のパンフレットには、バリアフリーの拠点である先端研らしく、音声読み上げに対応した形式も用意されている。

---

### ・先端研に関連する刊行物

○御厨貴編著『東大先端研物語～東京大学先端科学技術研究センター二〇年のあゆみ～』（中央公論事業出版）2008年

研究、組織システム、経営、人事、教育など、さまざまな面で日本をリードしてきた東京大学先端科学技術研究センターの自省録として、先端研20周年記念として刊行された書籍。二十周年記念シンポジウムでの山崎正和氏の講演と、最相葉月氏他によるパネル・ディスカッションも収録されている。

○東京大学先端科学技術研究センター、神崎亮平編『ブレイクスルーへの思考 東大先端研が実践する発想のマネジメント』（東京大学出版会）2016年

「先端研ニュース」の人気連載・異分野研究者対談「喧研譚学」を再編集し、広報誌には掲載しきれなかった内容も収録して、2016年12月に書籍として出版された。神崎亮平教授が、これまでほとんど語られることのなかった、最先端の研究を生み出す研究者の思考や人となりをも11名とのインタビューから引き出している。

## 2. インターネット広報

インターネットの発達に伴い、先端研ではインターネット媒体による広報活動も積極的に行っている。

### ・公式ウェブサイト

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

先端研の公式ウェブサイトは1994年9月28日に開設された。2014年6月20日には日英両言語に対応したサイトへのリニューアルを行った。研究成果や報道、イベント等の情報更新は頻繁に行われている。アクセスの多いコンテンツは研究者情報である。30周年に際しては30周年記念サイトも開設され、「先端研ヒストリー」や「フォトギャラリー」、異分野の准教授同士の対談企画「対話する「未来論」」などのコンテンツが披露された。

### ・公式メールマガジン「RCAST NAVI」

2005年1月31日の開始以来、2017年6月時点で、計115号が発行されている。現在、日本語版は月1回、毎月下旬に発行されている。英語版は2013年7月より発行を開始し、現在は隔月での配信を行っている。内容は、先端研に関するニューストピック、研究成果、ウェブサイトの更新情報、イベントに関する情報、書籍の紹介や報道・受賞のお知らせが中心である。

### ・Facebook/Twitter

Twitter : UTokyo\_Rcast (日本語)  
UTokyo\_Rcast\_en (英語)

Facebook : UTokyo.Rcast (日本語)  
UTokyo.Rcast.en (英語)

先端研は、FacebookとTwitterのアカウントを2011年7月に開設した。日本語アカウントを中心に

に先端研や研究者に関係するイベント、メディア出演情報などを頻繁に発信している。

### 3. メディア

こうした積極的な情報発信や、また所属研究者の先端的研究への興味から、先端研の活動はメディアからも高い関心を集めている。

過去10年の先端研に関する新聞報道を簡単に振り返ってみよう。先端研の研究者の寄稿を除けば、記事掲載の半数以上はプレス発表または情報発信を行った研究成果やその後の活動に関する記事である。先端研の広報活動が評価されている証左であろう。とりわけここ10年は、高効率太陽光発電に関わる研究について先端研が頻繁に取り上げられている。これは2008年に先端研が「革新型太陽電池国際研究拠点整備事業」の拠点に選定されたこと、2009年のエネルギー・環境技術国際研究拠点「SOLAR QUEST」発足などから、先端研の研究者及び研究が認知されているためと考えられる。

研究成果やその後の活動に関する記事に続いて、時事トピックスに対する識者としてのコメント、媒体企画の取材記事が多く掲載されている。研究成果自体に関わるものが材料、情報、エネルギー・環境、生物医化学といった分野に多くみられる一方、社会科学はこうした政治・社会面での研究者の寄稿やインタビュー、コメントが主である。とりわけTBSのテレビ番組「時事放談」で長年キャスターを務める御厨貴客員教授（名誉教授）が、2016年から「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」議長代理として、天皇の生前退位をめぐる各種メディアに発言したことは記憶に新しい。

バリアフリー分野は、研究・プロジェクト・インタビュー・コメント等で取り上げられているが、社会・生活面での掲載が多く、また人物（研究者自身）に関わる記事が多い。とりわけ2008年、福島智准教授（当時）が全盲ろう者として日本で初めて博士号を取得したことは、地方紙を含む新聞媒体で取り上げられた。このように多彩な取り上げられ方は、先端研のユニークさを世間に伝える一助を担っている。

2007年に始まった障害のある学生の進学と就労への移行支援を通じたリーダー養成プロジェクト「DO-IT Japan」や、2014年から人間支援工学分野と日本財団の共同で実施されているユニークな子どもに新しい学びの場を提供する「異才発掘プロジェクト ROCKET」は、新聞媒体で取り上げられるのみならず、プロジェクトに密着したテレビ番組が複数局で制作・放映されるなど、多様な関心が寄せられている。バリアフリー分野の所属教員たちは、2013年に制定された（2016年施行）障害者差別解消法に関わるトピックスで近藤武夫准教授が、2016年7月に起こった相模原殺傷事件では福島教授、熊谷晋一郎准教授が、メディアを通じていち早く積極的にコメントするなど、誰もが排除されない社会の実現について訴えている。

このように、先端研の研究者たちの活躍は新聞のみならず、あらゆるメディアで報道されるようになってきた。テレビ番組では、報道のみならず、先端研所属教員を取り上げたドキュメンタリー番組や、教員自身が解説・司会等で活躍する例もある。21世紀に入ってデジタルベースの報道メディアが次々と姿を現し、新聞媒体のデジタルコンテンツ化が進むなかで、今後の先端研はメディアミックスでさらに注目を集めることが期待される。

---

## 4. キャンパス公開

先端研は1989年以降、年に1回キャンパス公開を開催してきた。その目的は、近隣住民や多く一般の方に向け、研究所で行われている研究を紹介するだけでなく、先端研の特色である多様性をアピールし、先端研のさらなる認知向上につなげることにある。研究室見学はもとより、最新の科学技術だけでなく社会科学の話題を提供する講演会や、バリアフリーに関するシンポジウムの開催など、さまざまな方法で研究に触れられるようにプログラムに工夫を凝らしている。

キャンパス公開は、もともと「オープンハウス」が正式名称であった。駒場Ⅱキャンパス（リサーチキャンパス）内の他の研究機関と協調して開催され、2000年当時は、5機関（気候システム研究センター、国際・産学共同研究センター、人工物工学研究センター、空間情報科学研究センター、先端経済工学研究センター）と合同で開催している。その後、2001年に生産技術研究所（生研）がリサーチキャンパスに移転してからは共同での開催が模索され、2003年から上記5機関に加えて生研もが加わり、リサーチキャンパス全体を公開するという趣旨で対外的には「キャンパス公開」の名称が使用されるようになった。2008年からは他機関の統廃合もあって、先端研と生研の2研究所での合同開催となっており、この年から委員会においても「キャンパス公開」という名称が用いられるようになっていく。

「公開性」をモットーの一つとする研究所であるだけに、先端研はキャンパス公開にも積極的に取り組んできた。2007年には小田急線車両に中吊り広告を掲出し、総来場者数も2008年には3日間で8,500人余り、2009年には2日間で8,200人余りと注目を集めるようになった。内容においても、2007年からは科学や先端的研究への関心を持ってもらえるよう、研究室の学生や若手研究者が中心となって理科教室などの子ども向けの参加型プログラムを開始。その後も、参加研究室の情報を4号館前ピロティに集めたディスプレイ「先端研ショーケース」（2008年）や、人を生きている本に見立てて参加者と直接対話する図書館「リビングライブラリー」の開催（2009、2010、2011年）など、先端研の多様な研究を実体験するためのさまざまな試みを行ってきた。2012年からは、各分野から1名ずつ若手研究者が参加するワーキング・グループが中心になってその企画・準備を行うようになり、近年では助教を中心としたセミナーやクイズイベントなども行われているほか、2015年以降は先端研独自のポスターも作成している。

## 資料 4-1-1 先端研ニュース各号目次 (No.63 ~ 97)

年	月	No.	ページ	目次	
2007	7	第 63 号	1	表紙	半導体ナノテクノロジーと次世代フォトニクス・量子情報技術
			2~3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	半導体ナノテクノロジーと次世代フォトニクス・量子情報技術／荒川研究室
			4	- COLUMN - コラム	狩野モデル／鈴木宏正
			5	- ESSAY - エッセイ	新しい事業体と課税問題—研究開発と資金調達—／水野忠恒
			6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	バリアフリー社会を支える エンジニアリングの創造／井野秀一
			7	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	大脳の聴皮質と可塑性／高橋宏知
			8	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	タテ型・ヨコ型組織 (その3)／澤昭裕
			9	- FROM CASTI - CASTI だより	はみ出し刑事純情派 アソシエイト系／本多聡
			10	- TOPICS - トピックス	「キャンパス公開 2007」を終えて
			10	- BOOKS - 新刊紹介	「障害とは何か」星加良司 著 「コーポレートファイナンス第8版」リチャード・ブリーリー／スチュワート・マイヤーズ／フランクリン・アレン 著 (藤井真理子・国枝繁樹監訳) 「ヒトと機械のあいだ」廣瀬通孝編 「産学連携の実証研究」馬場靖憲・後藤晃 編 ジョン・P・ワルシュ特任教授、鈴木潤特任教授、矢崎敬人特任助手、鎗目雅助手らも原稿を共同執筆
			11	- NOTICE BOARD - 受賞情報	受賞情報
			12	- FROM AIS - AIS だより	平成 20 年度大学院学生募集中
			12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集委員 岩本敏
2007	10	第 64 号	1	表紙	ユビキタスネットワークへの道—いまだけ・ここだけ・あなただけ—
			2~3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	ユビキタスネットワークへの道—いまだけ・ここだけ・あなただけ—／森川博之研究室
			4	- COLUMN - コラム	環境エネルギー科学を担う人材の育成／瀬川浩司
			5	- ESSAY - エッセイ	社会の変化と制度改革／藤井真理子
			6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	実装技術を駆使した高集積光マイクロシステム／日暮栄治
			7	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	大気微粒子のリアルタイム計測／竹川暢之
			8	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	研究経営における中間的立場の役割と経営戦略企画室の今後の展望／相馬宣和
			9	- FROM LIAISON OFFICE - 産学連携だより	開始から2年：先端研型産学連携モデル「トライアル連携」について／高津由美
			10	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	先端研 20 周年記念シンポジウムのご案内
			11	- BOOKS - 新刊紹介	「日本の産学連携」玉井克哉・宮田由紀夫編著 「無名戦士たちの行政改革—WHY NOT の風—」津昭裕・村尾信尚編著
			11	- NOTICE BOARD - 受賞情報	受賞情報
			12	- FROM AIS - AIS だより	平成 20 (2008) 年度の入学試験を実施
			12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集委員 須磨岡淳
2008	1	第 65 号	1	表紙	多重的な制御から生命を見る
			2~3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	多重的な制御から生命を見る システム生物医学分野

	4	- COLUMN - コラム	研究評価についての3分間テスト/馬場靖憲
	5	- ESSAY - エッセイ	supportive audienceの姿勢/牧原出
	6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	住民選好にもとづいた環境施策評価/栗栖聖
	7	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	全光ネットワークを実現する半導体光集積回路/種村拓夫
	8	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	着任のご挨拶/小西由也
	9	- FROM LABORATORIES - 研究室だより	イタリア・ローマ大学との国際交流/宮山勝
	10	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	2007年を振り返って
	11	- BOOKS - 新刊紹介	「創造活動支援の理論と応用(知の科学)」堀浩一著 「最新太陽電池総覧」 ～ All About Solar Cells - from Semiconductors to Dye - Sensitized ～ シリコン系・化合物半導体系・有機系(有機薄膜・色素増感)豊島安健(産業技術総合研究所)・内田聡監修 「オーラル・ヒストリー入門」御厨貴編
	11	- NOTICE BOARD - 受賞情報	受賞情報
	12	- FROM AIS - AISだより	編集委員 赤石美奈
2008 4 第66号	1	表紙	エアロゾルと地球温暖化
	2～3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	エアロゾルと地球温暖化 先端的エアロゾル測定が切り拓く新たな気候研究
	4	- COLUMN - コラム	評価の年/宮野健次郎
	5	- ESSAY - エッセイ	America's Cupと富の創造/北野宏明
	6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	材料の高性能化を支える表面・界面のメカニクス/劉玉付
	7	- TOPICS - トピックス	意外? 全学ゼミ出講数附置研第一位は先端研/菅原琢
	8	- FROM LABORATORIES - 研究室だより	ディベンダビリティを目指して世界と連携/南谷崇
	9	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	「民間マネジメントの導入」の悲劇/澤昭裕
	10	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	キャンパス公開 2008のご案内
	11	- BOOKS - 新刊紹介	「東大先端研物語～東京大学先端科学技術研究センター二〇年のあゆみ～」御厨貴編著 「量子コンピュータ入門」宮野健次郎・古澤明著 かずくんはつめい・はっけんシリーズ3「かずくん仲間と会社をつくる ～げんきのもとをつくっちゃえ!のまき～」知的財産マネジメント研究会監修
	12	- FROM AIS - AISだより	先端学際工学専攻(博士課程)2007年度後期修了者一覧
	12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集委員長 馬場靖憲
2008 7 第67号	1	表紙	歴史や文化を活かした都市再生
	2～3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	歴史や文化を活かした都市再生 都市保全システム分野
	4	- COLUMN - コラム	多様性が生み出す新規性/中邑賢龍
	5	- ESSAY - エッセイ	自然科学と国際政治との融合/米本昌平
	6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	現実政治を可視化する計量政治学の役割/菅原琢
	7	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	動的変動を生じる血管内皮細胞の分子生物学的解析に基づく血管疾患の機序解明/南敬
	8	- FROM LABORATORIES - 研究室だより	国際研究ネットワーク/香川豊
	9	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	三丁目の夕日/澤昭裕
	10	- TOPICS - トピックス	「キャンパス公開 2008」を終えて

	11	-BOOKS- 新刊紹介	「レズビアンである〈わたしたち〉のストーリー」飯野由里子著 「光と界面がおりなす新しい化学の世界—光触媒と光エネルギー変換—」 編集：東京大学先端科学技術研究センター 瀬川浩司、矢作美紀子／同大学院工学系研究科 橋本和仁 他
	12	-FROM AIS- AIS だより	平成 21 年度大学院学生募集中
	12	-EDITOR'S NOTE- 編集後記	編集委員 高橋宏知
2008 10 第 68 号	1	表紙	半導体結晶成長技術を駆使して次世代太陽電池材料を開拓する
	2～3	-HIGHLIGHT- 分野紹介	半導体結晶成長技術を駆使して次世代太陽電池材料を開拓する 新エネルギー分野／岡田研究室
	4	-COLUMN- コラム	「若齢化」問題／油谷浩幸
	5	-ESSAY- エッセイ	現場・地域に根ざしたバリアフリー科学、福祉工学とは？ —新たな研究ガバナンスの構築—／田中敏明 癌エピゲノミクス／金田篤志
	6	-PROMISING RESEARCHERS- 若手研究者紹介	グリーンインターネットアーキテクチャ／南正輝
	7	-PROMISING RESEARCHERS- 若手研究者紹介	知的財産と社会技術／玉井研究室
	8	-FROM LABORATORIES- 研究室だより	ご縁～着任の挨拶～／山下秀
	9	-FROM MANAGEMENT- 経営戦略室だより	特別寄稿 ケンブリッジ大学クレア・ホール滞在記／橋本毅彦
	10	-TOPICS- トピックス	東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻イノベーションコース（博士課程）説明会を実施
	11	-FROM CAMPUS- キャンパスだより	平成 21 年度大学院学生募集中
	12	-FROM AIS- AIS だより	
	12	-EDITOR'S NOTE- 編集後記	編集委員 栗栖聖
2009 1 第 69 号	1	表紙	テクノロジーを活用したバリアフリー
	2～3	-HIGHLIGHT- 分野紹介	困難を解決する技術を利用して科学の先端を目指す人間支援工学分野
	4	-COLUMN- コラム	皆さまと守り育てるキャンパス／中野義昭
	5	-ESSAY- エッセイ	世界的金融危機の行方／武藤敏郎
	6	-PROMISING RESEARCHERS- 若手研究者紹介	メタボリックシンドローム治療薬を作る／田中十志也
	7	-PROMISING RESEARCHERS- 若手研究者紹介	新世代インターネットに向けた光ネットワーク技術／今泉英明
	8	-FROM LABORATORIES- 研究室だより	地球の未来を担うハイブリッド太陽電池の開発に挑む／瀬川研究室
	9	-FROM MANAGEMENT- 経営戦略室だより	経営戦略企画室に期待される機能／小西由也
	10	-TOPICS- トピックス	東京大学先端科学技術研究センターと産業技術総合研究所が組織的連携・協力に関する協定を締結 新たなイノベーションプラットフォーム実現のための連携協定
	11	-BOOKS- 新刊紹介	「理工学系からの脳科学入門」合原一幸・神崎亮平 編 「脳科学と芸術」小泉英明 編著 （第二部-6「音楽の起源—福祉工学の前線から—」を伊福部達教授が担当） 「イスラーム世界の論じ方」池内恵 著
	12	-FROM AIS- AIS だより	先端学際工学専攻（博士課程）2008 年度秋・修了者一覧
	12	-EDITOR'S NOTE- 編集後記	編集委員 岩本敏
2009 4 第 70 号	1	表紙	高精度な宇宙データ利用に向かって
	2～3	-HIGHLIGHT- 分野紹介	高精度な宇宙データ利用に向かって 知能工学分野／岩崎研究室

	4	- COLUMN - コラム	先端研が消える日／宮野健次郎
	5	- ESSAY - エッセイ	サンパウロの街角で／富田孝司
	6	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	先端研でイスラム思想史を研究する／池内恵
	7	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	ディペンダブル VLSI システムの実現に向けて／今井雅
	8	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	先端科学技術イノベータコースって何？／三浦有紀子
	9	- TOPICS - トピックス	革新的太陽光発電国際シンポジウム 2009 世界の一流級の研究者が駒場リサーチキャンパスに集結
	10～11	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	「東京大学駒場リサーチキャンパス キャンパス公開 2009」を開催
	12	- FROM AIS - AIS だより	先端学際工学専攻（博士課程）2008 年度後期修了者一覧
	12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集委員 須磨岡淳
<hr/>			
2009 7 第 71 号	1	表紙	分子間相互作用の自在制御により新たな利用価値を見出す
	2～3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	分子間相互作用の自在制御により新たな利用価値を見出す バイオナノマテリアル分野／芹澤研究室
	4	- COLUMN - コラム	所長礼賛／鈴木宏正
	5	- ESSAY - エッセイ	国際競争力強化の戦略とルールの先導を／渡部俊也
	6～7	- FROM LABORATORIES - 研究室だより	駒場 先端研・時計台からのメッセージ／御厨研究室
	8	- PROMISING RESEARCHERS - 若手研究者紹介	太陽光を使った低コスト土壌浄化技術／砂田香矢乃
	9	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	駒場と石川県の縁／道中貞治
	10	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	「キャンパス公開 2009」を終えて
	11	- BOOKS - 新刊紹介	「論理回路の基礎」南谷崇 著 「ロボットで探る昆虫の脳と匂いの世界—ファープル昆虫記のなぞに挑む—」神崎亮平 著 「イノベーションと政治学：情報通信革命〈日本の遅れ〉の政治過程」高橋洋 著
	12	- FROM AIS - AIS だより	「博士課程進学のスズメ」 先端科学技術イノベータコース説明会
	12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集委員長 池内恵
<hr/>			
2010 4 第 72 号	1	表紙	生活習慣病—ゲノムからエピゲノムへ—記憶される生活習慣と新しい治療薬への期待
	2～4	- HIGHLIGHT - 分野紹介	生活習慣病—ゲノムからエピゲノムへ—記憶される生活習慣と新しい治療薬への期待 代謝医学分野／酒井研究室
	5	- SPECIAL ISSUE - 特集	今号から新しく特集記事の枠を設けます
	6～9		池内恵編集長が聞く—廣瀬通孝教授—
	10		先端コンテンツ拠点とオーラルヒストリー—立体的な歴史を作る—
	11～12		アートとテクノロジーが揺るがす日常—鈴木康広特任助教に聞く—
	13	- FROM LABORATORIES - 研究室だより	ウッドロー・ウィルソン国際学術センター／池内恵
	14	- FROM MANAGEMENT - 経営戦略室だより	先端研に来て／翁長久

	15	- BOOKS - 新刊紹介	「中東危機の震源を読む」池内恵 著 「世論の曲解—なぜ自民党は大敗したのか」菅原琢 著 「変貌する日本政治—90年代以後「変革の時代」を読みとく」御厨貴 編 「シゴトの渋滞、解消します！結果がついてくる絶対法則」西成活裕 著 「生きるって人とつながることだ！全盲ろうの東大教授・福島智の手触り人生」福島智 著 「Digital Public Art in Haneda Airport 空気の港 テクノロジー×空気を感じる新しい世界」東京大学「デジタルパブリックアートを創出する技術」プロジェクト・廣瀬通孝・鈴木康広ほか 著
	16	- FROM AIS - AIS だより	2011 年度大学院学生募集中
	16	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集長 池内恵
2010 11 第73号	1	表紙	渋滞学—あらゆる渋滞の分野横断的研究、そして解消への実践的取り組み
	2~3	- HIGHLIGHT - 分野紹介	渋滞学—あらゆる渋滞の分野横断的研究、そして解消への実践的取り組み 数理創発システム分野（西成研究室）
	4~8	- SPECIAL ISSUE - 特集	新旧所長に聞く
	9~10	- FROM CAMPUS - キャンパスだより	駒場リサーチキャンパス公開 2010 訪問記
	11	- BOOKS - 新刊紹介	「酵素 利用技術体系—基礎・解析から改変・高機能化・産業利用まで—」小宮山真 監修 「サイエンス徹底図解 太陽電池のしくみ 太陽電池のしくみからビジネス事情までやさしく解説！」 瀬川浩司/小関珠音/加藤謙介 編著 「量子ドット太陽電池「変換効率 50% 以上」を目指す、革新的太陽電池技術」岡田至崇 著 「甦る金融—破綻処理の教訓」武藤敏郎 編著 「新興衰退国ニッポン」金子勝・児玉龍彦 著
	12	- FROM AIS - AIS だより	先端学際工学専攻（博士課程）2009 年度修了者一覧
	12	- EDITOR'S NOTE - 編集後記	編集長 池内恵
2011 9 第74号	1	表紙	駒場リサーチキャンパス公開特集
	2~3	駒場リサーチキャンパス大公開!!	講演や研究室公開など盛りだくさん
	4~5	リビングライブラリー@3号館	Understanding Diversity ~あなたのココロ、とくしてみませんか?
	6~7	風洞実験棟公開ツアー@1号館	3メートル風洞特別公開
	8~9	研究室展示	クローズアップ!! ナノの世界の芸術作品! マイクロナノアート展/生田研究室
	10	展示テーマ一覧	展示テーマ一覧
	11	講演	講演
	11	駒場リサーチキャンパス公開を振り返って	キャンパス公開委員 西成活裕
	12	編集後記	野口香織、北別府由美
2011 12 第75号	1	表紙	
	2~3	Special Issue	巻頭特集「新エネルギー研究棟始動」
	4~5	New Project 「先端研探検団 II」	file.1 神崎研究室 神崎亮平教授/生命知能システム
	6	Research Report - 研究報告 -	Hot Stock 「DNA の読み取りは速度調節されていた!」
	7~8	RCAST Report - 活動報告 -	講演会、シンポジウム、展示会、国際交流
	9		熊谷晋一郎特任講師が特別授業
	10	Topic	特集「米国から帰国した福島智教授に聞く」
	11	From Division	国際連携便り、産学連携便り
	12~14	Information	「人事」「受賞・評価」「イベント案内」「書籍紹介」
	15	Relay Essay - 先端とは何か -	第1回 御厨貴教授/情報文化社会
	16	編集後記	野口香織、北別府由美

2012 2 第76号	1	表紙		
	2～4	Special Issue I 震災1年を前に －先端研の復興支援－	福島を支援する児玉龍彦教授「除染は科学者の責任」	
	5		中野義昭所長も福島入り「復興への橋渡しが先端研の役目」	
	6～7		大槌町復興プロジェクト代表の西村幸夫教授「まちづくり全力で支援」	
	8		震災復興の提言続ける御厨貴教授	
	9		先端研の震災復興支援関連一覧	
	10	Special Issue II 先端研に寄せる	先端研の思い出／小宮山眞教授	
	11		あなたのポジションは？／宮野健次郎教授	
	12	Research Report －研究報告－	研究報告	
	12	RCAST Report －活動報告－	講演会・シンポジウム、研究成果発表	
	13	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」	
	14	From Division	国際連携便り、産学連携便り	
	15	Relay Essay －先端とは何か－	第2回 瀬川浩司教授	
	16	編集後記	野口香織、北別府由美	
	2012 4 第77号	1	表紙	
		2～5	Special Issue	3m 風洞特別公開－先端研25周年記念－
6～8		Special Project 「先端研探検団 II」	file.2 岡田研究室 岡田至崇教授／新エネルギー	
9		Topic	教授会セミナー『最終講義』	
10		Research Report －研究報告－	Hot Stock I「5 暖流の海水温が急上昇」	
11		Research Report －研究報告－	Hot Stock II「ストックホルム大と共同研究スタート」	
11		RCAST Report －活動報告－	講演会・シンポジウム	
12～13		Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」	
14		From Division	国際連携便り、産学連携便り	
15		Relay Essay －先端とは何か－	第3回 森川博之教授	
16		編集後記	野口香織、北別府由美	
2012 6 第78号	1	表紙		
	2	Special Issue 駒場リサーチキャンパス公開	駒場リサーチキャンパス公開を開催！	
	3		オープニングセレモニー 基調講演／御厨貴客員教授「復興と災後社会の目指すもの」	
	4～6		研究室展示	
	7		研究室公開一覧	
	8～10		理科教室、アンケート結果 展示説明や理科教室で若手研究者が大活躍！	
	11		講演会、研究紹介	
	12		キャンパス公開ヒトコマ	
	14	Research Report －研究報告－	研究成果、講演会・シンポジウム、国際関連、メディア	
	15	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」	
	16	編集後記	野口香織、北別府由美	
2012 8 第79号	1	表紙		
	2～5	Special Issue	DO-IT Japan Summer School 2012	
	6～8	Special Project 「先端研探検団 II」	file.3 岡本研究室 岡本晃充教授／生命反応科学	
	9	Research Report －研究報告－	Hot Stock I「KPZ 方程式の厳密解を得た」	
	10～11	Information	Hot Stock II「動画連動型脚本検索エンジン開発」 先端研リサーチツアー開始	

	12	RCAST Report -活動報告-	研究成果、講演会・シンポジウム、メディア、産学官連携
	13	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」
	14	From Division	国際連携便り、産学連携便り
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第4回 中村泰信教授
	16	編集後記	野口香織、北別府由美
2012 10 第80号	1	表紙	
	2～3	Special Issue	理科教室、海を渡る
	4～6	Special Project 「先端研探検団 II」	file.4 田中研究室 田中敏明特任教授/人間情報工学
	7	Research Report -研究報告-	Hot Stock 「真核生物の転写ではポリメレースがジャンプしていた！」
	8～10	Research Report -研究報告-	東日本大震災復興アーカイブス
	11	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」
	12～13	RCAST Report -活動報告-	プレスリリース、お知らせ、講演会・シンポジウム、メディア
	13		先端研リサーチツアー実施報告
	14	From Strategy Planning Office	産学官連携、国際活動報告
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第5回 西村幸夫教授
	16	編集後記	野口香織、北別府由美
2012 12 第81号	1	表紙	
	2～3	Special Issue	女子中高生のみなさん 先端研へようこそ！
	4～6	Special Project 「先端研探検団 II」	file.5 香川研究室 香川豊教授/高信頼性材料
	7	Research Report -研究報告-	Hot Stock 「重度障害児を支援するソフト「OAK」を開発」 プレスリリース
	8	Topics	ボード会議報告
	9	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「書籍紹介」
	10～11	RCAST Report -活動報告-	Topics 駒場リサーチキャンパス総長パトロール 駒場リサーチキャンパス防災訓練・第63回駒場祭 外国人研究者・留学生との懇談会
	12		Topics 日仏新エネルギー連携研究拠点オフィス開所
	12		講演会・シンポジウム、メディア
	13		先端研リサーチツアー実施報告
	14	From Strategy Planning Office	産学官連携、先端学際工学専攻
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第6回 池内恵教授
	16	編集後記	野口香織、北別府由美
2013 2 第82号	1	表紙	
	2～3	Special Issue	先端研リサーチツアー本格始動
	4～6	Special Project 「先端研探検団 II」	file.6 藤田研究室 藤田敏郎教授/臨床エピジェネティクス
	7～8	RCAST Report -活動報告-	Topics 神崎研究室がひらめき☆ときめきサイエンスを開催！ 聴覚に障害をもつ子どもたちがクリスマス会 KRC 国際駅伝開催！ メディア、国際連携、講演会・シンポジウム
	9	Information	「東日本大震災アーカイブプロジェクト事務局より」 「受賞・評価」「人事」「書籍紹介」
	10	From Strategy Planning Office	先端研をロケットのごとく推進するために、産学官連携
	11	Relay Essay -先端とは何か-	第7回 渡邊克己准教授
	12	編集後記	野口香織、北別府由美
2013 4 第83号	1	表紙	
	2～3	Special Issue	所長就任挨拶/新所長 西村幸夫—Human-centeredで社会に変革を迫る先端研究を—

	4～7		新旧所長対談／前所長 中野義昭教授・新所長 西村幸夫教授
	8～10	Special Project 「先端研探検団 II」	file.7 渡邊研究室 渡邊克巳准教授／認知科学
	11	Research Report - 研究報告 -	Hot Stock I「宇宙に滞在するヒト型コミュニケーションロボットを開発」
	11		Hot Stock II「組み立て簡単な段ボールベッドを開発」
	12		Hot Stock III「高信頼性・高温材料研究開発コンソーシアム本格始動！」
	13	RCAST Report - 活動報告 -	講演会・シンポジウム、メディア
	14～15	Topics	東日本大震災アーカイブプロジェクト
	16～17	Information	「受賞・評価」「新刊」「イベント情報」「人事」
	18	From Strategy Planning Office	研究成果の公表—秘密保持義務の相互確認—
	19	Relay Essay - 先端とは何か -	第8回 高橋智隆
	20	編集後記	野口香織、北別府由美
2013 6 第84号	1	表紙	
	2～3	Special Issue 駒場リサーチキャンパス公開 - 研究成果展示や理科教室 -	オープニングセレモニー
	4～5		駒II初！「たまご落としコンテスト」を開催！
	6～7		理科教室
	8～9		研究室展示
	10～11		写真で振り返るキャンパス公開
	12～14	RCAST Report - 活動報告 -	プレスリリース、研究成果、国際関連、メディア、講演会・シンポジウム
	14～15	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「新刊」
	16	編集後記	野口香織、北別府由美
2013 10 第85号	1	表紙	
	2	目次、巻頭言	広報委員長兼広報・情報室長 神崎亮平教授
	3～5	Featured Article	ロボット飛行士「キロボ」宇宙へ行く！／高橋智隆特任准教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団 II」	file.8 中村泰信教授／量子情報物理学
	10	Latest Research	「光で匂いを感じる昆虫をつくりだすことに成功」
	11	Topics	2013年夏の先端研リサーチツアー クレアホールに学生2名を派遣
	12～13	Information	「受賞・評価」「イベント案内」「人事」「新刊」
	14	From Division 企画室便り	産学官連携、国際連携
	15	Relay Essay - 先端とは何か -	第9回 近藤武夫准教授
	16	輝け！未来の先端人	中邑研究室／新谷清香
2014 1 第86号	1	表紙	
	2	目次、編集後記	広報委員 鈴木宏正教授
	3～5	Featured Article 「喧研譚学」	第1回「藤井真理子×神崎亮平」
	6～9	Featured Project 「先端研探検団 II」	file.9 生田幸士教授／医用マイクロマシン
	10	Latest Research	「バランス感覚をチェックできるトレーニングアプリを開発」
	11～13	Topics	「先端研ボード会議」 「CEAフランス政府特命原子力最高顧問訪問」 「外国人研究者・留学生との懇談会」 「先端研リサーチツアー」 「ミュンヘン大の学生訪問」 「神崎教授ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」
	13～14	Information	「人事」「受賞」「活動報告」「新刊」
	15	Relay Essay - 先端とは何か -	第10回 神崎亮平教授「中継ぎの「先端」研究」
	16	輝け！未来の先端人	西成研究室／今村卓史助教
2014 5 第87号	1	表紙	

	2	目次、編集後記	広報委員 池内恵准教授
	3～5	Featured Article	障害のある人の「働く」を支援！ 先導的障害者雇用促進プロジェクトに取り組む中邑・近藤研究室
	6～9	RCAST Cross Talk 「喧研講学」	第2回 渋滞学者・西成活裕教授×広報委員長・神崎亮平教授
	10～13	Information	「人事情報」「イベント情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14	Topics	先端学際工学専攻入試の出願、7月2日から受付！
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第11回 牧原出教授「政治の先端を考え続ける」
	16	輝け！未来の先端人	西村研究室／松田達助教
2014 8 第88号	1	表紙	
	2	目次、編集後記	広報委員 巖淵守教授
	3～5	RCAST Cross Talk 「喧研講学」	第3回「数学で拓く、新しい生物医学」 計量生物医学・浜窪 隆雄教授×広報委員長・神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団II」	file.10 森川博之教授／情報ネットワーク 「ビッグデータで未来を創る」
	10～11	Featured Article	駒場リサーチキャンパス公開2014 PHOTO REPORT 衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員が先端研を視察
	12	Topics	先端学際工学専攻説明会を開催 ロボティクス・メカトロニクス講演会2014 in Toyama で生田幸士教授ほか4名が受賞 藤田敏郎名誉教授が、国際高血圧学会（ISH）最高名誉賞を日本人で初めて受賞
	13～14	Information	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第12回 高橋哲教授
	16	輝け！未来の先端人	藤田敏郎研究室／鮎澤信宏特任研究員
2014 11 第89号	1	表紙	
	2	目次、編集後記	広報委員 岡田至崇教授
	3～5	Featured Project 「先端研探検団II」	file.11 玉井克哉教授／知的財産法 「日本の知的能力を、いかに守るか」
	6～9	RCAST Cross Talk 「喧研講学」	第4回「生きていくコミュニケーション」 バリアフリー・福島 智 教授×広報委員長・神崎 亮平教授
	10	Special Report 知られざる先端研	「経営戦略企画室」って？
	11～12	Topics	中村泰信教授（量子情報物理学）が第11回江崎玲於奈賞を受賞 世界初・岩盤掘削によるブローホール波力発電の実証実験が福井県でスタート ロボット宇宙飛行士「キロボ」会話実験プロジェクトが2014年度グッドデザイン賞を受賞ほか
	13～14	Information	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第13回 中村尚教授「予測するサイエンス」
	16	輝け！未来の先端人	中邑・宇佐見研究室／山崎歴舟助教
2015 2 第90号	1	表紙	
	2	目次、編集後記	広報委員 渡邊克巳教授
	3～5	RCAST Cross Talk 「喧研講学」	第5回「風をつくる力」 エネルギー・環境 飯田誠特任准教授×広報委員長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団II」	file.12 年吉洋教授／極小デバイス理工学 「センサ社会の盲点を解決する」
	10	Special Report 知られざる先端研 (2)	「大学院と研究の支援」教育支援担当
	11～12	Topics	先端研ボード会議を開催 異才発掘プロジェクト「ROCKET」開校 西村幸夫教授（都市保全システム）が中華民国（台湾）文化省の名誉顧問に ひらめき☆ときめきサイエンス開催

			アラブ首長国連邦政府視察団が牧原教授を訪問 国際交流イベント「Setsubun and Mochi-Pounding」 開催 「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」「イベント情 報」 第14回 谷内江望教授「先端とは理想を追求するこ とである」 石北研究室／齊藤圭亮助教
	13～14	Information	
	15	Relay Essay -先端とは何か-	
	16	輝け！未来の先端人	
2015 5 第91号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第6回「量子の不思議を操る」 量子情報物理学 中村泰信教授×広報委員長 神 崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.12 油谷研究室／ゲノムサイエンス 「これからのゲノム連携」
	10～11	Topics	自閉スペクトラム症者の特異な知覚世界を体験でき る、ヘッドマウントディスプレイ型知覚体験シミュレ ータを開発 神崎亮平教授が参加する国際研究グループが、国際プ ロジェクト「ヒューマン・フロンティア・サイエン ス・プログラム」に採択 大学院先端学際工学専攻 平成26年度 学位記授与式、 平成27年度 入学式を挙行 異才発掘プロジェクト「ROCKET」トップランナー 講義を開催 ブローホール波力発電システム見学と勉強会を福井 県にて開催
	12～13	Information	「受賞」「活動報告」「新刊」「イベント情報」
	14	知られざる先端研 〈特別編〉	先端研設立に込められた思い
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第15回 テイクシェ・三田・アニエス准教授 「Internationalization: a key point for cutting-edge research」
	16	輝け！未来の先端人 編集後記	岩崎研究室／横矢直人助教 広報委員 高橋哲教授
2015 8 第92号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第7回「翻弄される研究活動に終止符を」 科学技術論・科学技術政策 馬場靖憲教授×広報委員 長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.13 高橋研究室／光製造科学 「指先工場・光の革命」
	10～11	Topics	駒場リサーチキャンパス2015開催 先端研の分野横断型プロジェクト「東日本大震災ア ーカイブプロジェクト」ディスカッション開催 先端研倫理研修会を開催 超伝導量子ビットと磁石の球のコヒーレントな結合 に初めて成功 藤田敏郎名誉教授が紫綬褒章を受章 台湾文化省大臣が西村幸夫教授を訪問
	12～13	Information	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14	知られざる先端研 〈キャンパス公開舞台裏 編〉	
	15	Relay Essay -先端とは何か-	第16回 熊谷晋一郎准教授「概念をつくる、概念を つなげる」
	16	輝け！未来の先端人 編集後記	西村研究室／森朋子助教 広報委員 谷内江望准教授
2015 11 第93号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第8回「スピリット・オブ・サイエンス」 理論化学 石北央教授×広報委員長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.14 中村・小坂研究室／気候変動科学 「疑似地球で地球の揺らぎを探る」
	10～11	Topics	先端研若手研究者交流会を開催 先端研リサーチツアーに岐阜県立関高等学校ほか が参加 インターナショナルガーデンパーティを開催

	12～13	Information	先端学際工学専攻の岩松琢磨さん（神崎研究室）が、Best Student Oral Presentation Awardを受賞
	14	知られざる先端研	ミュンヘン大学の学生が先端研を見学
	15	Relay Essay - 先端とは何か -	大学院先端学際工学専攻平成27年度秋季学位記授与式、27年度秋季入学式を挙行
	16	輝け！未来の先端人 編集後記	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」 〈財務企画担当& NEDO プロジェクト室 編〉 第17回 新谷元嗣教授「先端とは、時間との闘いである？」 谷内江研究室／関元昭特任助教 事務長 糸井和昭
2016 2 第94号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第9回「都市を読み解く科学」 都市保全システム 西村幸夫教授×広報委員長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.15 巖淵研究室／支援情報システム「『アルテク』で障害支援を変える」
	10～11	Topics	先端研ボード会議を開催 先端研 OB 懇談会を開催 JX エネルギー社共催「インテレクチュアル・カフェ」開催 「インテレクチュアル・カフェ」開催 生命知能システム分野 櫻井健志特任講師が、2015年度吉田奨励賞を受賞 量子情報理工学分野 野口篤史特任助教と田淵豊特別研究員が、日本物理学会第10回若手奨励賞を受賞 数理創発システム分野 江崎貴裕特別研究員が、第32回井上研究奨励賞受賞 『昆虫嗅覚系全脳シミュレーション』が、平成26年度HPCIシステム利用研究課題で優秀成果賞を受賞
	12～13	Information	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14	知られざる先端研	〈人事給与担当チーム 編〉
	15	Relay Essay - 先端とは何か -	第18回 小谷潔准教授「先端研にてファッションの先端にも思いを馳せて」
	16	輝け！未来の先端人 編集後記	牧原研究室／佐藤信助教 広報委員長 神崎亮平
2016 5 第95号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第10回「見えない価値を扱う仕組み」 情報ネットワーク 森川博之教授×広報委員長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.16 酒井研究室／代謝医学「環境が脂肪細胞を操作する」
	10～11	Topics	英国上院議員アンドリュー・ランズリー卿が先端研を視察 先端研の分野横断型プロジェクト「東日本大震災アーカイブプロジェクト」第5回ディスカッション開催 気候変動科学分野 小坂優准教授が、平成28年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞 韓国ソウル大学 AICT の訪問及び合同ワークショップ開催 平成27年度先端学際工学専攻学位記授与式を挙行
	12～13	Information	「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14～15	知られざる先端研	〈経営戦略室 編〉2016年度 経営戦略室メンバー紹介
	16	新所長あいさつ	「科学と技術のハーモニーで人と社会をつなぎ、未来を形にする先端研」所長 神崎亮平
2016 8 第96号	1	表紙	
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」	第11回「複雑さといかに向き合うか」 システム生物医学 児玉龍彦教授×所長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」	file.17 特別編／駒場リサーチキャンパス公開2016
	10～11	Topics	富士電機（株）・先端研共催「AI交流会」開催 香港城市大学の学生が先端研を来訪

					岡田至崇教授と石川県企業との共同研究開発案件が NEDO「新エネルギーベンチャー技術革新事業」に採択
					先端研の分野横断型プロジェクト「東日本大震災・熊本地震アーカイブプロジェクト」始動
					中村尚教授が参加する国際研究グループが、ベルモント・フォーラム CRA（国際共同研究）に採択
	12～13	Information			「人事情報」「お知らせ」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14	知られざる先端研			〈企画調整チーム & New Face〉
	15	Relay Essay - 先端とは何か -			第19回 小坂優准教授「先端はマレビトがつれてくる」
	16	輝け！未来の先端人 編集後記			高橋研究室／道畑正岐助教 広報委員長 中村尚先生
2016 11 第97号	1	表紙			
	2～5	RCAST Cross Talk 「喧研譚学」			第12回「閉ざさず、ひらく」 当事者研究 熊谷晋一郎准教授×所長 神崎亮平教授
	6～9	Featured Project 「先端研探検団Ⅱ」			file 18 近藤研究室／高機能材料分野「遅れてきたスーパーヒーロー『ペロプスカイト』」
	10～11	Topics			DO-IT Japan が10周年記念一般公開シンポジウムを東大安田講堂にて開催 先端研 OB 懇談会を開催 ミュンヘン大学が先端研を訪問 先端研 研究倫理講習会を開催 駒場リサーチキャンパス防災訓練を実施 先端学際工学専攻 平成28年度秋季学位記授与式及び入学式を挙げる
	12～13	Information			「人事情報」「受賞」「活動報告」「新刊」
	14	知られざる先端研			〈施設・安全チーム〉
	15	Relay Essay - 先端とは何か -			第20回 セット・ジイヨン准教授 Running at the Forefront
	16	輝け！未来の先端人 編集後記			中邑・近藤研究室／平林ルミ助教 広報委員 テイクシェ・三田・アニエス准教授

資料 4-1-2 先端研に関する新聞報道（集計）

掲載年	件数	総文字数	朝・夕刊別		紙 面										分野・研究（カテゴリ）							
			朝刊	夕刊	地方	オピニオン	社会	文化	総合	科学	教育	生活	経済	その他	社会科学	バリアフリー	環境・エネルギー	生物医化学	情報	材料		
2007	19	24,682	13	6	1	2	6	1	7	1			1				8	4	4	1	1	1
2008	13	12,165	12	1	1	1	3	1					3	3	1		3	6	4			
2009	13	16,559	13		6	1	1			3	1				1		1	3	5	2		1
2010	17	22,451	16	1	4	3	2	4	1	2	1						6	2	5	2		
2011	8	13,122	8		3	2	2	1									2	2	3		1	
2012	20	25,895	20	2	8	3	6	1	1						1		5	5	2	6		
2013	9	22,457	9		1	5		2			1						4	3	1	1		
2014	14	23,425	14	2	2	5	2	1	1	1					2		4	4	1	4	1	
2015	8	13,539	8		4	2					1				1		4		1	1	2	
2016	18	44,262	18	3	4	6	2	2	2		1				1		10	7				
総計	139	218,557	131	15	34	30	24	13	12	7	5	4	3	7			47	36	26	17	5	2

## 資料 4-1-3 キャンパス公開

実施年	日程
2008年	5月29日(木)、5月30日(金)、5月31日(土)
2009年	5月29日(金)、5月30日(土)
2010年	6月4日(金)、6月5日(土)
2011年	6月3日(金)、6月4日(土)
2012年	6月1日(金)、6月2日(土)
2013年	5月31日(金)、6月1日(土)
2014年	6月6日(金)、6月7日(土)
2015年	6月5日(金)、6月6日(土)
2016年	6月3日(金)、6月4日(土)
2017年	6月2日(金)、6月3日(土)

---

## 第2節 連携協定

### 1. 国際連携

先端研の4つのモットーの一つは「国際性」であり、この追求のためさまざまな海外の研究機関と提携してきた。多くの提携は、先端的な研究を行う先端研所属の教員が、各自の研究分野においてグローバルに研究活動を展開することを起点としている。先端研としては、これら研究者の活動を支えるため、海外研究拠点の整備など、研究にブレイクスルーをもたらすインフラの整備を行っている。そして、国際連携にあたっては研究室の枠組みを超えた組織的な連携を行うことで、海外の研究コミュニティにおいて有機的なネットワークを構築し、先端研の国際的なプレゼンスを高めようと試みている。

『20年史』では国際連携について記載がなかったことから、ここでは過去30年間の国際連携の全体像を解説する。

#### (1) 知的財産と再生可能エネルギー

初期の国際連携をリードしたのは知的財産分野である。先端研10周年を機に1997年に知的財産権大部門が設立されると、玉井克哉教授の主導による同年の北京大学知的財産権学院との連携を嚆矢として、先端研と相手機関とが直接に提携する部局間連携としては初めてのジョージ・ワシントン大学(2000年)など、中国・アメリカ合衆国・ドイツの諸研究機関との連携協定が締結された。

2008年に新エネルギー分野が設立され、2010年に産学連携新エネルギー研究施設が立ち上げられるなど、先端研が再生可能エネルギーに注力するようになると、アリゾナ州立大学アリゾナ再生可能エネルギーイニシアティブ(2010年)、フランス国立科学研究センター(CNRS)(2011年)、革新的太陽光発電研究所(CRSP)(2013年)など、関連した連携協定が次々と締結された。

多くは各研究者が主導したものであるが、CNRSとの協定は特殊な経緯に依るものである。すなわち、2009年に「エネルギー技術開発に関する日EU戦略ワークショップ」(経済産業省と欧州委員会研究総局による共同開催)のメンバーが先端研を訪問したことを契機として、フランス政府が再生可能エネルギー研究に興味を示し、大使館との交渉を経て2012年5月24日、CNRSとの次世代太陽光発電技術を中心とした新エネルギー研究開発に関する包括的連携協定が締結され、同年10月、本連携活動の要となる‘LIA(Laboratoire International Associé)NextPV’が先端研内に設置された。全学協定自体は2011年に締結されているが、先端研は2012年からこれに参加したことになる。以上のような経緯から、太陽光発電にとどまらず、バイオマス、水素エネルギー等も含めた「総合的新エネルギー分野における協力拠点」への拡大を目指し、学内外の研究室・研究機関との協力活動の展開が行われている。

そのほかにも、材料科学、高速電子機能デバイス、昆虫科学・神経科学など、さまざまな分野で連携協定が締結されており、中野義昭元所長が主導したアブダビ経済開発庁・UAE大学との提携は工

学系研究科に移管されるなどすでに終了しているものもあるが、現在に至るまで旺盛な国際連携が行われている。

### (2) 英国ケンブリッジ大学クレア・ホール（カレッジ）との連携

先端研が長期間にわたって東京大学とは独自に取り組んでいる特記すべき連携として、ケンブリッジ大学クレア・ホールとの連携を挙げることができる。1209年に創設された世界最古の大学の一つであるケンブリッジ大学は、イギリス伝統のカレッジ（学寮）制を特徴としている。1966年に設立されたクレア・ホールはそのカレッジ群のなかでも極めて新しいカレッジの一つで、学部学生は所属せず、先端的研究を扱うという点において、先端研と親和性の高いカレッジである。

日本学術振興会のロンドン研究連絡センターに先端研から所長として教授を派遣するという段階を経て、2006年、先端研はクレア・ホールの International Study and Research Centre (ISRC) の設立に参加した。そこで締結された覚書により、クレア・ホールはその敷地内に ISRC の一部として新センターを設置し、先端研の客員研究者や大学院生を受け入れることが合意された。

これに基づき先端研は、2006年には Visiting Fellow Program、2011年には Visiting Student Program をスタートさせ、クレア・ホールにシームレスに教員や学生を派遣することにより、ケンブリッジ大学との信頼関係の構築に努めてきた。これまで Visiting Fellow Program においては6名、Visiting Student Program においては11名を派遣している。

### (3) SGU 戦略的パートナーシップ事業への参画

2014年に文部科学省は、「スーパーグローバル大学（SGU）創成支援」事業をスタートさせた。本事業は、徹底した大学改革と国際化を断行し、我が国の高等教育の国際通用性、ひいては国際競争力強化の実現を図り、優れた能力を持つ人材を育成する研究基盤を整備することを目的としている。東京大学は、世界レベルの教育研究を行うトップ大学に採択され、「東京大学パートナーシップ大学プロジェクトグローバルキャンパスモデルの構築」事業を開始し、2024年までに非英語圏における研究型総合大学のモデルとなるようなグローバルキャンパスの実現を目指している。

先端研は、全学的に戦略的パートナーシップ協定を結んでいる大学の中でも、特にケンブリッジ大学、パリ・グランドゼコール群、スウェーデン大学群のワーキング・グループにインテンシブに参画している。例えば、ケンブリッジ大学のワーキング・グループでは、サステナビリティといった視点から先端研が独自に育んできた上述のケンブリッジ大学との信頼関係を大きく活かし、この取り組みを推進している。一方、パリ・グランドゼコール群のワーキング・グループでは、CNRSなどと2012年に締結した次世代太陽光発電技術を中心とした新エネルギー研究開発に関する包括的連携協定を基に、革新的太陽電池・システムに係る共同研究及び学生交流をさらに活発化させ、相互の大学院教育を組織的に共同して行うべく、SGU 戦略的パートナーシップ事業の支援を受けて、フランスとのより強固な連携を築き、且つ、そのすそ野を大きく広げるべく展開している。

---

## 2. 自治体連携

先端研のこの10年を振り返ると、地方自治体との連携が加速度的に進展している。スーパー COE に代表されるように国家プロジェクトとの関係が深かった先端研ではあったが、地方にある先端的技術やその展開可能性を提供してもらい、先端的な知識を先端研が提供するという連携のかたちが模索されるようになってきたのである。日本ではとりわけ2000年代後半から注目されるようになったローカルの可能性を、学問分野においても積極的に摂取した過程と見ることもできよう。

### (1) 前史

だが、先端研と地方自治体との連携の歴史は、実は1995年7月に岐阜県と「研究推進覚書」を締結したことまで遡る。軽部征夫教授が梶原拓岐阜県知事に招聘されて県の科学技術顧問になったことを契機として、研究推進の覚書が締結された（資料4-2-2）。この覚書に基づき、岐阜県から受け入れた公設試験研究機関職員が産学連携業務に従事したほか、先端研の研究者が岐阜県先端科学技術体験センター（サイエンスワールド）の立ち上げを支援し、毎年、岐阜県で講演会を実施するなどの交流を行ってきた（2006年度まで）。

こうした伝統のもとに、その後の地方自治体との連携が行われるようになったといえよう。

### (2) 石川県との包括連携

その後、2006年4月、澤昭裕教授を室長として迎え、経営戦略企画室が設立されたのと同時に、石川県庁から職員1名が研修として派遣され、その当時始まったばかりのトライアル連携（組織連携）などの産学連携プロジェクトの実務を担当した。石川県との人的交流はその後も続き、2012年3月には、先端研と石川県及び公益財団法人石川県産業創出支援機構の3者で連携協定を締結し、石川県との本格的な連携がスタートした（資料4-2-3）。

当初は、先端研教員を石川県へ派遣しセミナーを実施する一方、石川県工業試験場職員を先端研の研究室が受け入れるなど研究面の人的交流を中心とした連携が進められ、2013年より先端研・石川県共同による産学連携支援制度「東京大学先端科学技術研究センター共同研究創出支援事業」が開始された。これは、先端研教員と石川県企業との共同研究を、先端研と石川県の共同ファンディングにより支援する制度であり、自治体から資金を受け入れるだけでなく先端研も金銭的な負担をして共同研究を推進することに特徴がある。2013年から2017年までに、延べ17件の共同研究プロジェクトを支援しており（資料4-2-4）、共同研究成果をもとにした特許出願や国の大型プロジェクトに採択されるなどの事例も生まれている。

なお、石川県庁からの研修派遣は現在も続いており、2017年時点で6代目、11年以上にわたる人的交流となっている。

### (3) 近年の地方自治体との包括連携の展開

石川県との包括連携協定を一つのモデルとして、近年、多くの地方自治体との連携が進んでいる。はじめに2016年7月、小泉秀樹教授のまちづくり研究室を中心に長野県小布施町と連携協定を締結し、町内の地域再生、活性化を研究する協働の研究所「東大先端研・小布施町コミュニティ・ラボ」を町役場内に設立した。学生が地域資源や町内の空き家の活用などについて調査を進め、地方創生政策へのアドバイスや町の施策に反映させることを目的としている。

さらに、2017年4月には、都道府県レベルでは2つ目となる連携協定を熊本県及び熊本大学との間で締結した。これは、2016年4月に発生した熊本地震ののち、御厨貴客員教授が「くまもと復興・復興有識者会議」の座長代理となったことを契機として、地震からの創造的復興を達成し、復興・復興を熊本の更なる発展につなげるとともに、「災害に強く誇れる資産を次代につなぎ夢あふれる新たな熊本の創造」に資することを目的として締結された包括連携協定である。具体的には、高齢者の就労支援、障害者の就労支援、地元企業のイノベーション支援、震災アーカイブなどの分野で、研究交流、産学官連携、人材育成等を進めていくことを想定しており、これまで先端研が取り組んできた「震災アーカイブプロジェクト」と石川県連携の中で培ってきた自治体連携のノウハウ、先端研の強みである先端的な研究分野を基にして、熊本県・熊本大学両者と密に連携・協力しながら、熊本の復興支援のためにさまざまな取り組みをさらに進めていくこととしている。特に、熊本県PRマスコットキャラクター「くまモン」をヴァーチャルリアリティー技術によって再現する取り組みは、熊本県出身の檜山敦講師が中心となり進めているユニークなプロジェクトである。

また、2017年6月には先端研と信州大学とのクロスアポイント教員である玉井克哉教授が中心となって長野県軽井沢町及び信州大学社会基盤研究センターとも包括連携協定を締結し、それぞれ組織・地域の強みを生かしながら連携して地域課題に対応し、「軽井沢ブランド」向上など、活力のある個性豊かな地域づくりを目指すこととしている。

資料 4-2-1 地方自治体との連携協定

締結年月日	自治体	その他連携組織
1995年7月26日	岐阜県	
2012年3月29日	石川県	(公財) 石川県産業創出支援機構
2016年7月20日	小布施町(長野県)	
2017年4月10日	熊本県	熊本大学
2017年6月26日	軽井沢町(長野県)	信州大学社会基盤研究センター

研究推進覚書

科学技術の先端的な研究機関である東京大学先端科学技術研究センターと、岐阜県は、来るべき21世紀社会における先端科学技術の重要性を互いに認識し、先端的な研究開発などを通じて、我が国における極限環境等の研究開発拠点を構築して科学技術の促進に寄与するため、次の事項に合意した。

- 1 東京大学先端科学技術研究センターは、東濃研究学園都市における学術研究について、知識・技術の提供等、知的支援を通じて積極的な協力を行う。
- 2 岐阜県は、東京大学先端科学技術研究センターが東濃研究学園都市において行うフォーラム・シンポジウム等の学術研究について、積極的な支援を行う。
- 3 東京大学先端科学技術研究センター及び岐阜県は、双方の研究活動及び共同研究等について、積極的な研究協力を行う。

平成7年7月26日

東京大学先端科学技術研究センター長 岸輝雄

岐阜県知事 梶原拓

石川県及び財団法人石川県産業創出支援機構と  
国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターとの  
連携と協力に関する協定書

石川県（以下「甲」という）及び財団法人石川県産業創出支援機構（以下「乙」という）と、国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター（以下「丙」という）は、相互の発展のため連携と協力することに合意し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙と丙が連携と協力により、学術の振興、産業の発展及び活力ある個性豊かな石川の地域づくりに資することを目的とする。

（連携内容）

第2条 甲及び乙と丙は、前条の目的を達成するため、それぞれの機関の有する知識、経験及び能力を活かし、研究交流や産学官連携、人材育成等を推進する。なお、共同での取り組みの具体的な内容は、別途両者協議の上、書面にて取り決めるものとする。

（有効期間）

第3条 この協定の有効期間は平成24年3月29日から平成25年3月31日とする。但し、期間満了の二ヶ月前までにいずれか一方からの書面による終了の意思表示がないときは更に1年間延長されるものとし、以後も同様とする。

（疑義の決定）

第4条 本協定に定めのない事項及び本協定に関し疑義が生じた場合には、甲及び乙と丙が協議の上、決定する。

以上のとおり協定を締結したことを証するため、本協定書を3通作成し、書名の上、各自その1通を保有する。

平成24年3月29日

- 甲 石川県知事 谷本正憲
- 乙 財団法人石川県産業創出支援機構  
理事長 谷本正憲
- 丙 国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター  
所長 中野義昭

資料 4-2-4 先端研・石川県連携実績

採択年度	種別	企業名	教員	研究テーマ
H25	事業化可能性調査事業	テックワン株式会社	宮山 勝 教授	プロトン型電気化学キャパシタの大容量化技術の調査研究
		株式会社朝日電機製作所	瀬川 浩司 教授	色素増感太陽電池を組み込んだ工芸品の開発
		株式会社システムサポート	油谷 浩幸 教授	ゲノム情報のデータ解析システムのクラウド環境における導入・運用支援サービスの事業化可能性調査
	研究開発支援事業	株式会社アクトリー	富田 孝司 特任教授	太陽エネルギーの多様利用・平準化によるスマートアグリシステムへの応用
		倉庫精練株式会社	瀬川 浩司 教授	全ての基材を合成繊維とした色素増感太陽電池の開発
H26	事業化可能性調査事業	株式会社浅田屋	渡邊 克巳 准教授	会席料理における「おいしさ」を感じる認知メカニズムの解明
		吉田司株式会社	田中 敏明 特任教授	足底感覚刺激用サポーター・インソール開発のための調査
	研究開発支援事業	株式会社アクトリー	岡田 至崇 教授	集光型高効率太陽電池モジュールの開発
		シグマ光機株式会社	山崎 歴舟 助教	超高反射率・低損失レーザーミラーの開発
H27	研究開発支援事業	シグマ光機株式会社	山崎 歴舟 助教	極小光ファイバー共振器の開発
		吉田司株式会社	中邑 賢龍 教授	足底感覚刺激によるバランス能力向上サポーター・インソール等の開発
		米沢電気工事株式会社	鈴木 誠 助教	熱画像解析による太陽電池診断システムの開発
H28	事業化可能性調査事業 研究開発支援事業	丸越工業株式会社	井上 純哉 准教授	金属の熱処理工程の省エネを図る高効率ヒーターの開発調査
		日機装技研株式会社	小熊 久美子 准教授	深紫外発光ダイオード (DUV-LED) を用いた流水式消毒装置の開発
		米沢電気工事株式会社	鈴木 誠 助教	空撮での太陽電池熱画像解析によるリアルタイム診断システムの開発

国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター、国立大学法人熊本大学及び熊本県との  
包括的連携に関する協定書

平成 28 年 4 月、震度 7 の地震が 2 度にわたり熊本を襲い、多くの方の尊い命が失われた。また、住家被害は 18 万棟にも及び、農業、製造業、観光業をはじめとする地域経済や公共施設も甚大な被害を受け、さらに熊本城や阿蘇といった熊本の宝も深く傷ついた。

国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター（以下「甲」という。）では、同年 5 月、「東日本大震災・熊本地震アーカイブプロジェクト」を始動し、被災地を支援する取組みを開始している。

また、国立大学法人熊本大学（以下「乙」という。）では、同年 6 月に「熊本復興支援プロジェクト」を設置し、県をはじめ自治体等に協力しながら、復興を強力に推進している。

熊本県（以下「丙」という。）は同年 8 月に平成 28 年熊本地震からの復旧・復興プランを策定し、復旧・復興の方向性と熊本の将来への展望を県民に示した後は、このプランに基づき着々と復興への歩みを進めている。

甲、乙及び丙が相互に連携し協力することは、平成 28 年熊本地震からの創造的復興、及び更なる発展を目指す上でより効果的、効率的と考えられる。

以上により、甲、乙及び丙は、平成 28 年熊本地震からの復旧・復興を進めるに当たり相互に連携し協力することに合意し、次のとおり協定する。

（目的）

第 1 条 本協定は、甲、乙及び丙が相互の連携と協力により、平成 28 年熊本地震からの創造的復興を達成し、復旧・復興を熊本の更なる発展につなげるとともに、「災害に強く誇れる資産を次代につなぎ夢にあふれる新たな熊本の創造」に資することを目的とする。

（連携内容）

第 2 条 甲、乙及び丙は、前条の目的を達成するため、それぞれの機関の有する知識、経験及び能力を活かし、研究交流や産学官連携、人材育成等を推進する。

（有効期間）

第 3 条 本協定の有効期間は本協定の締結日から平成 32 年 3 月 31 日までとする。ただし、本協定の有効期間が終了する 1 カ月前までに甲、乙及び丙が書面により特段の申出を行わないときは有効期間終了から 1 年間、本協定は更新されるものとし、その後も同様とする。

（協議）

第 4 条 本協定に定めのない事項又は本協定に関する疑義については、甲、乙及び丙で協議の上、これを定めるものとする。

本協定の締結を証するため、協定書を 3 通作成し、甲、乙及び丙署名のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 29 年 4 月 10 日

甲 東京都目黒区駒場四丁目 6 番 1 号  
国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター

所長 神崎亮平

乙 熊本県熊本市中央区黒髪二丁目 39 番 1 号  
国立大学法人熊本大学

学長 原田信志

丙 熊本県  
代表者 熊本県知事 蒲島郁夫

## 第3節 所内交流

設立当初、少人数の所帯であった先端研も、現在では所属人数だけで2017年10月現在、教職員202名（客員、フェロー、特任を含む）、先端学際工学専攻（工学系研究科）の教員4名、学生・研究員（客員、協力、共同を含む）407名、合わせて613名の大所帯である。研究室に分かれ、専門領域も多岐にわたっていることから、普段交流する機会は限られている。教授会に付随して行われる教授会セミナーに参加しない若手研究者や学生において、特にその問題は大きい。そこで、気軽に声を掛け合える研究環境を実現するのみならず、学際的な研究をますます促進する契機ともすべく、しばしば所内交流の機会が提供されてきた。

最近では、先端研30周年の関連イベントとして、30周年事業実行委員会の下部組織として谷内江望准教授を中心に先端研オリンピック実行委員会が組織され、スポーツを通して所内交流を図るイベントとして2017年10月13日に102名が参加して「先端研オリンピック」が開催された。バリアフリー分野に関わりのある「ゆるスポーツ」（ベビーバスケット、ゾンビサッカー）、身体情報学分野の協力を得て先端研で開発している「超人スポーツ」、日立東大ラボの提案による日立伝統の「パンボン」など、先端研ならではの競技を通して交流が図られた。また、その後にはハッピーアワー（後述）の拡大版として芋煮会も開催された。

新人歓迎会とRCAST忘年会のほかに、先端研に特徴的な所内交流のイベントとしてカフェセミナーとハッピーアワーがあり、以下ではこれらを紹介する。

### 1. カフェセミナー

カフェセミナーは、それまで先端研外から講師を招いて年1回開催されていたRCASTセミナーを2008年から改名して誕生した。所長秘書室が事務を担当し、14号館1階につくられた先端研カフェを利用して、2008年から不定期に先端研内外の研究成果を先端研内の教職員に共有するために開催されている。掲載した開催記録は所長秘書室の資料から作成したものである（資料4-3-1）。ただし、教授会議事録から少なくとも2009年11月11日に「ロボットとバリアフリー」（報告者不明）、2010年1月27日に「オバマ政権下の米国科学技術政策」（John P. Walsh）の開催案内を確認できることから、これが全てを網羅しているかどうかは確定できないことを付言しておく。

報告のテーマや報告者の所属は多岐にわたっており、専門的なテーマを他分野のスタッフにもわかりやすく語ることが、このカフェセミナーの一つの特徴である。報告者のなかには、その後先端研に採用されたり、先端研内でポストを変更したりする者も少なくない。単なる所内交流のイベントではなく、学際性をモットーとする先端研にとって、学問の垣根を超えて語り合えるスタッフを生み出すイベントにもなっているということができよう。

## 資料 4-3-1 先端研カフェセミナー

開催			講師			題目
年	日	時間	所属	職名	氏名	
2008	3/5	17:00-18:30	北海道大学公共政策大学院	准教授	中島岳志	近代日本の右翼—その思想と系譜
	4/23	17:00-18:30	国際日本文化研究センター	准教授	池内恵	啓示と現代の国際政治
2010	5/12	16:30-18:00	東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻	教授	生田幸士	未来医療を拓く、医用マイクロマシンとロボティクス
	6/9	15:00-16:30	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	准教授	中村尚	異常気象の科学と温暖化
	12/22	15:00	独立行政法人 物質・材料研究機構	主任研究員	垣澤英樹	セラミックス系複合材料の力学特性の新しい設計指針
2011	4/13	15:30-17:00	東京大学工学系研究科航空宇宙工学専攻	准教授	小泉宏之	先端的宇宙推進機による宇宙開発利用の革新に向けて
	6/8	16:30-18:00	NEC グリーンイノベーション研究所	主席研究員	中村泰信	電気回路で量子を操る
	6/22	16:00-17:30	米国ピッツバーグ大学	准教授	小出和則	Organic Approaches to Biology and Public Health
	11/2	16:00-17:30	独立行政法人 理化学研究所 基幹研究所	准主任研究員	岡本晃充	DNA は有機化合物です～生物有機化学研究のこれまでとこれから～
	12/21	13:30-15:00	NTT 未来ねっと研究所	研究員	李斗煥 (Lee, Doohwan)	圧縮センシング技術による無線信号処理のパラダイムシフト
2012	4/25	16:30-18:00	先端科学技術研究センター	特任准教授	菅原琢	平成の日本政治
	5/16	16:30-18:00	ノースカロライナ州立大学 資源・経済学部	教授	井上篤	ローリング・ウィンドウによる予測について
	6/6	16:30-18:00	東北大学大学院法学研究科	教授	牧原出	自民党政権とは何だったのか? : 歴史と展望
	6/20	16:30-18:00	政策研究大学院大学	教授	竹中治堅	混迷の日本政治
	7/11	16:30-18:00	Department of Economics, University of Virginia	Associate Professor	向山敏彦	Labor Market Flows: A Macroeconomic Perspective
	7/18	15:00-16:30	Department of Economics, Vanderbilt University	Associate Professor	新谷元嗣	Great Earthquakes, Exchange Rate Volatility and Government Interventions
	10/10	15:30-16:30	コペンハーゲン大学ニールス・ボーア研究所	研究准教授	宇佐見康二	アンドロイドはシュレディンガーの羊の夢を見るか?
	10/17	15:30-16:30	東京大学工学系研究科化学生命工学専攻	助教	山口哲志	「バイオ」を制御する分子の道具を創る
	12/5	16:00-17:30	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	教授	山下真司	カーボンナノチューブ・グラフェンがなぜ光エレクトロニクスにとって魅力的なのか?

2013	11/6	15:00-16:30	東京大学大学院工学系研究科 精密工学専攻	教授	高橋哲	次世代超精密モノづくりを支援する新規光応用技術の追求—局在光制御による高分解能精密計測およびその応用技術開発—
2014	3/12	13:00-14:00	大阪大学大学院理学研究科 生物科学専攻	教授	石北央	蛋白質反応エナジェティクスの理論解析研究
	3/19	15:00-16:30	トロント大学	博士研究員	谷内江望	生命システムの計測を高速化するDNAバーコードテクノロジー
	4/23	15:00-16:30	東京大学大学院工学系研究科 精密機械工学専攻	准教授	小谷潔	ヒト循環器・神経系の非侵襲計測・信号処理と支援応用—生命現象の動作原理を数理的に読み解き支援技術に応用する—
	5/28	14:00-15:30	カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋研究所	プロジェクト・サイエンティスト	小坂優	気候の移ろいの科学
	12/3	15:00-16:30	東京大学先端科学技術研究センター	特任講師	熊谷晋一郎	Recovery is Discovery—回復と研究とをつなぐ当事者研究という取り組みについて—
	12/17	15:00-16:30	東京大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	教授	近藤高志	光機能材料の新展開—材料は使いよう—
2015	1/14	15:00-16:30	東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻	講師	小熊久美子	水中微生物の制御技術—紫外線消毒の最前線—
	2/4	15:00-16:30	東京大学先端科学技術研究センター	助教	斉藤圭亮	蛋白質構造が語る光合成反応のしくみ—理論化学で生命現象を読み解き、役立てる—
	4/8	16:00-17:30	東京大学先端科学技術研究センター	助教	池内真志	膜マイクロデバイスによる医学・生物学の革新—再生医療への応用を中心に—
	5/13	16:00-17:30	東京大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	准教授	井上純哉	高強度—高延性の両立を可能にする金属基複合材料の幾何設計指針
	6/9	14:00-15:30	東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻	准教授	柳澤大地	数値モデルを用いた混雑緩和方法の研究
	10/7	14:00-15:30	株式会社アルネアラボラトリ	代表取締役社長兼CTO	SET SZE YUN	カーボンナノチューブを用いた短パルスモード同期レーザー及びその応用
	11/25	15:00-16:30	東京大学大学院情報理工学系 研究科システム情報学専攻	教授	稲見昌彦	身体の未来
	12/2	14:00-15:30	カリフォルニア工科大学	日本学術振興会海外特別研究員	鈴木真介	ヒトの社会的意思決定を支える神経機構—計算論的脳イメージングによる解明—
	12/2	16:00-17:30	九州大学システム情報科学研究院	教授	田中久美子	コミュニケーションに内在する数理的普遍を求めて：複雑さと再帰性
2016	1/6	15:00-16:30	東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻	教授	小泉秀樹	少子高齢・人口減少社会におけるまちづくり
	3/9	15:00-16:30	東京大学大学院薬学系研究科	特任講師	榊田祥子	医薬品の知的財産保護と医薬品産業の課題
	5/25	15:00-16:30	東京大学大学院知能機械情報学専攻	特任講師	檜山敦	Geron-informatics—ジェロントロジーにおける情報学研究—

	6/22	15:00-16:30	東京大学先端科学技術研究センター	助教	堀内恵子	Zrsr1 transgenic mouse の transcriptome 解析
	11/2	16:40-18:10	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	教授	杉山正和	Photovoltaic 4.0—高効率太陽光発電と化学的エネルギー貯蔵がもたらす次世代再生可能エネルギーシステム—
	12/21	15:00-16:30	物質・材料研究機構 構造材料研究拠点	グループリーダー	渡邊誠	構造部材保護のための耐環境コーティング技術の開発
2017	1/11	16:30-18:00	東京大学先端科学技術研究センター	助教	松村欣宏	脂肪細胞の環境刺激の感知と適応のしくみ—脂肪を蓄え、飢えと寒さから生命を守る脂肪細胞—
	3/1	16:00-17:30	東京大学先端科学技術研究センター	特任講師	永江玄太	エピゲノム修飾 ささまざまな細胞の役割を決めるしくみ—DNA メチル化解析を中心に—

## 2. Happy Hour (ハッピーアワー)

谷内江望准教授の提案により、2015 年末からハッピーアワーと呼ばれる所内交流イベントが定期的  
に開催されるようになった。夏季休業中の 8 月、忘年会のある 12 月を除き、毎月第 4 金曜日の夕方に  
14 号館 1 階の先端研カフェにて開催されている。

谷内江望准教授は、「自分が真に何をしたいのか、何者でありたいのか語り合う」場をつくる発想の契  
機を次のように語っている。

「サイエンスは確実に少なくない割合がお酒によってドライブされており、繋がって世界に何度も素  
晴らしい変革をもたらしてきました。私たちが居酒屋でビールジョッキ片手に自分達の仕事と信念を  
ぶつけ合うことがあります。イギリスでは大学の側のパブで研究者達は議論すると聞きます。ポスト  
ンに轟めく様々な研究所も毎週金曜日の夕方に持ち回りで研究室がビールをホストする公式のハッピ  
ーアワーを開催しています。」

こうした海外のハッピーアワーを参照して、先端研のハッピーアワーも事務ではなく各研究室が持  
ち回りで運営を担当している。ホストとなった研究室は、思い思いのポスターや演出で盛り上げる。  
また 17 時から 18 時までの 1 時間と、研究活動に障りのないように工夫もなされており、このため毎  
回 100 名近い参加者がカフェから溢れんばかりの盛況を呈している。今後ますます、先端研が一体感  
を持ったよりよい研究・教育環境となるのに大きく貢献することが期待される。

## 資料 4-3-2 ハッピーアワー

開催日	担当研究室
2015/12/18	神崎研究室、谷内江研究室
2016/1/22	西成研究室、石北研究室
2016/2/19	中村・宇佐見研究室、事務部
2016/3/18	高橋研究室、生田研究室
2016/4/22	児玉研究室、岡本研究室
2016/5/20	山下・セット研究室、経営戦略企画室
2016/6/17	油谷研究室、中村（尚）・小坂研究室
2016/7/15	谷内江研究室
2016/9/23	中邑研究室
2016/10/21	岩崎研究室、石北研究室
2016/11/18	岡田研究室
2017/2/24	近藤（高）研究室
2017/3/24	日立東大ラボ
2017/4/28	中村・宇佐美研究室
2017/5/26	谷内江研究室
2017/6/16	高橋・小谷研究室
2017/7/28	児玉研究室
2017/9/22	神崎・高橋研究室
2017/10/27	西成研究室
2017/11/17	稲見・檜山研究室、生田・池内研究室